

「青少年のひびくと成長し、現在から未来へと大きく前進することは、私たちの願いであり、将来を担う少年たちの健全な育成と非行の防止は、社会全体に関与せられた重要な課題です。7月は「青少年を非行から守る全国強調月間」、「社会を明るくする運動」が行われます。青少年の非行をテーマにみんなでお考えましょう。

# 「遊び型」「低年齢化」の傾向へ

## 非行の事例 遊ぶ金欲しさに

まず、県内で起きた少年非行の事例をみてみましょう。  
――高校中退の有職少年（十八歳）二人が、遊ぶ金欲しさに、顔見知りの高校三年生に対し、「俺たちの後には暴力団がついてくる」などといって脅かし、この高校生を通じて十人から約三十回にわたり、現金十六万円をおどし取っていた。  
――中学一年生二十四人が、デパートなどからシャープペンシル、カセットテープ、サングラスなど五百八十三点（時価約四

十四万円）を万引きし、遊びに使ったり、友だちに売りつけたりしていた。  
――友だちに「女を世話しろ」と頼まれた十七歳の男子高校生が、小遣い銭ほしきから知り合いの女子高校生三人を、仲介料一人につき五千円であっせんしていた。

## 補導されるのは 氷山の一角

三千七百七十人――県内で昨年中に刑法犯で補導された少年の数です。五十三年より少し減りましたが、大幅な増加をみ

せた五十三年に引き続き高い数値を示しています。白根管内では、二十三人の少年が補導されました。  
非行の種類は万引き、乗り物の盗みなど窃盗が大半を占めています。

刑法犯といかなくても、喫煙、深夜の遊び、暴走行為など正しい生活態度からはずれた不良行為で補導された少年たちの数はぐんと増えます。昨年県内で二万三千七百十九人、白根管内で五百四十四人が補導されています。これとて補導されるのは、ほんの氷山の一角にすぎないのです。

## 「遊び型非行」が多発

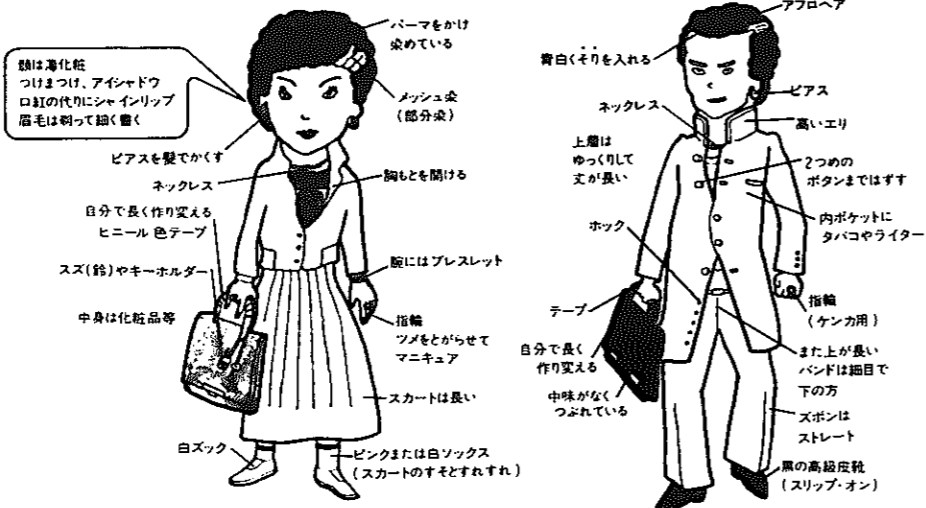
ここで、最近の少年非行の傾向などをあげてみましょう。  
□自転車やオートバイを自分で乗り回してみたいといった、単純な動機や目的による乗り物の盗みや万引きなど、罪の意識の薄い「遊び型非行」が多発しています。

□小学生や中学低学年層の非行が増え、非行の「低年齢化」傾向が、一層強くなっています。この「低年齢化」は、白根管内ではまだ見られませんが、だからといって安心してはいられません。

□シンナー、接着剤などを乱用する少年が増えています。シンナーなどの乱用から、昨管内で二人の死者がでていました。  
自殺、事故死、精神障害、非行……と、シンナーなどの乱用の弊害は大きく、常習者になるとなかなかやめられない恐ろしさを秘めています。

□性非行は、女子高校生を中心に最近急速にエスカレートしています。昨管内で、性非行で補導された女子は、二百十人と、五十三年に比べ七十人も増えています。性非行に走る動機を見ると、「好奇心から」が一番多くなっています。

## 不良のきざし



## 非行の兆候――こんなときには要注意

- 非行は病気と同じように、必ず兆候があります。
- 必要以上に服装を気にしたり、着方が普通でなくなる。
- 言葉使いが乱暴になり、うそを多くつくようになる。
- 金銭を強くねだり、金使いが荒くなる。
- 無断で外泊したり、夜遊びが多くなる。
- 学校や職場を理由もなく休むようになる。
- こんなときは要注意です。

## 子どもの指導のポイント

- 最近補導した非行少年や、少年相談などを通じて、親としてこれだけは知っておいてほしいというものを、いくつか紹介します。
- クラブ活動 成績が下がるからといってやめさせてはいけません。

## 青少年健全育成総合 対策基本計画から

- 市青少年問題協議会では、青少年を健全に育てるため、今年度は次の重点目標をかかげ、事業を実施していきます。
- ①青少年関係団体機関の連絡調整会議の開催
- ②善行青少年の表彰
- ③仲間意識を高めるため、積極的な事業参加の促進
- ④健全な仲間づくりとしての青少年団体の育成
- ⑤社会環境の浄化、活動の実施
- ⑥明るい家庭づくりの推進
- ⑦健全育成のための地域懇談会の実施
- ⑧幼児および青少年に対する家庭教育の普及徹底
- ⑨地域子ども会、スポーツ少年団の育成指導
- ⑩青少年指導者クラブの育成強化

## 7月1日～31日 社会を明るくする運動

七月一日から三十一日まで、「社会を明るくする運動」が行われます。これは、すべての人が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、力を合わせて犯罪のない明るい社会を築いていこうという運動です。今回の重点目標は、「青少年の非行防止と更生の促進」です。県内の市町村に先がけて、白根市実施委員会を結成し、ボランティアなどを中心とした地域組織化活動の推進や、非行のケースを研究し合って、その防止と更生に努める研究会などを行っています。

また、罪を犯した人たちの更生をはかるために「愛の募金運動」も行います。近いうちに、嘱託員を通して募金袋を配布します。ご協力をお願いします。

## 非行は 芽のうちに

白根警察署  
防犯少年課長  
目黒定夫さん



「子は親の鏡」、「青少年は社会の写し絵」といわれ、社会や家庭のそのものが、青少年の性格、行動となって投影されます。

青少年非行の防止に、家庭の果たす役割は大変重要です。しつけ、愛情、教育など青少年の人格の基礎は家庭にあるといわれています。最近の子どもの非行で、その責任が家庭や、保護者の責任であるのに、学校や社会にその責任を転嫁する風潮があることは残念なことです。

青少年非行の原因は、家庭ばかりでなく、素質、生育歴、社会環境など内的、外的要因が複雑にかかっています。

警察では、非行少年の補導には、非行事実の認定に終わるだけでなく、心身ともに未熟で、教育途上のデリケートな心情を考慮して、次の世代を担う少年として、細心の注意を払っています。

健全な青少年を育てるために、非行の芽は早いうちに摘みとらなければなりません。

## 青少年を 温かい眼で

青少年育成指導員  
古川辰家さん  
(注瀬)



青少年をめぐる問題は、ますます複雑多様化の傾向をみせています。非行も低年齢化、集団化し、犯行動機の享楽化、それに少年の自殺なども大きな社会問題になっています。白根市も国道8号線沿いにモーテルや成人雑誌の自動販売機などが多く、非行につながる要素を多分に持っています。

県内の青少年の数が25万人といわれ、そのうち、青年団やサークル活動などに入っているのが5万人。約20万の青少年が、いずれの活動グループにも入っていません。白根市は、青年教育センターを中心に青年団、青年学級、各クラブなどが盛んで、健全な精神と体力づくりに励んでいることは、喜ばしいことです。やがて20世紀も終わろうとしています。21世紀に国の柱となって働いてもらうのは、現在の青少年です。道をあやまらないよう、温かい眼で見守ってやるのが、私たち大人の責任ではないでしょうか。